



福島医大ふくしま子ども
女性医療支援センター教授
高橋 俊文氏

しています。日本では長らく不妊症の不妊期間は二年とされてきましたが、最近の女性の晩婚化を背景とした妊娠・出産年齢の上昇から、不妊期間を一年に変更しました。

米国籍産科婦人科学会と米国籍生殖医学会では、不妊症の検査を受ける対象として、女性の年齢が三

妊娠を希望し、ある一定期間、避妊することなく通常の性交を継続的に行っているにもかかわらず、妊娠の成立をみない

カップルが拳児を希望し治療を必要とする場合を「不妊症」といいます。避妊をしない性交を行っているカップルは一年間で約90%が妊娠しま

す。はじめの三カ月間は一月あたり約25%の妊娠率ですが、その後九カ月間は一月あたり約10%の妊娠率に低下します。この一月当たりの

体外受精治療などの高度不妊症治療を生殖補助医療と言います。二〇一五(平成二十七)年に生殖補助医療により妊娠・出生した児の数は全出生数の二十分の一となり、十五年前の約五倍に増加しました。このことから、不妊症カップルが増加していると考えられています。

今回と今回の二回にわたって不妊症について解説していきます。今回は、不妊症の定義と不妊期間についてです。不妊については日本産科婦人科学会では「生殖年齢の男女が

場合を不妊といい、その一定期間については一年というのが一般的である。なお、妊娠のために医学的介入が必要な場合は期間を問わない」と定義しています。このよう

年齢ごとに見た
1カ月間当たりの妊娠率

| 女性の年齢 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 12カ月 |
|--------|-----|-----|-----|------|
| 25歳未満 | 50% | 30% | 20% | 4% |
| 25~34歳 | 40% | 20% | 10% | 2% |
| 35~40歳 | 30% | 10% | 5% | 1% |

妊娠率は女性の年齢が増加すると低くなることが知られています。別表参照。例えば、二十五歳未満の女性では六カ月目の妊娠率はまだ20%あり

十五歳未満であれば不妊期間を一年としています。三十五歳から四十歳では不妊期間が六カ月で検査を受けることを勧め

不妊症(上)

年齢が妊娠率に関係

このように、女性の年齢と不妊期間は密接に関係

めています。次回(6月18日掲載)